

# 会 議 録

|     |                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------|
| 件 名 | 柱本小学校と三石小学校の再編統合計画に関する説明会・意見交換会（紀見北中学校区）                           |
| 日 時 | 令和8年6月14日（日）午前9時00分から午前11時30分まで                                    |
| 場 所 | 柱本小学校 体育館                                                          |
| 参加者 | 参加者 44名<br>今田教育長、岡教育部長、阪口参事、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、東主任、今山主任 |

教育長挨拶、資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。  
本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1．資料22ページ、この学校再編準備委員会のことについてお尋ねします。学校再編準備委員会は、小学校区ごとだから柱本小学校と三石小学校それぞれにつくるということです。その中で、再編統合を進めることについて確認を行うということなんですけれども。今までの議会での確認とか、それぞれの確認で、この再編準備委員会の中で、統合はできないということになったら、それはしないっていうふうなご答弁をいただいています。それぞれの小学校の再編準備委員会で確認を行うというのは、どこまでの話をそれぞれのところですか、2つの準備委員会が一緒になって話をするっていうのはどの段階なのかということについてお尋ねします。

（教育委員会）

両校に再編準備委員会を設置します。そこで再編統合を進めていくことについて、いわゆる確認をさせていただいて、次の段階に進んでいく形になります。市としてはそこで確認いただけるように進めていくということになるんですけども、確認を取った上で、次の段階に進んでいくという形になります。

1-2．そうしましたら、1回目の準備委員会で、それぞれのところで確認を取って、やっぺいこう、統合していこうということになったら、そのまま条例改正まで進んでいくっていうことでよろしいのでしょうか。

（教育委員会）

この準備委員会はそれぞれの学校で設置し、2つの準備委員会での確認が取れたとなると、言われましたように、次の段階にということで、議会での審議というか、議会に対して条例改正を提案させていただくという次のステップに入っていきたいと考えています。なお、準備委員会の中で議論をしていただくんですけども、それも当然その1回の準備委員会の開催で、その結論まで行くとかっていうことは、状況に応じてということになりますので、何回か議論を重ねて協議いただく中で、再編を進めることの確認を取れるという形もありえると考えています。

2－1．先ほどからおっしゃられてる、その確認というのはこの準備委員会で統合するか否かを確認することと考えていいんですか。準備委員会が任されてるということなんですか。

（教育委員会）

今ですね、この学校再編がどこまで進んでるかということ、橋本市の計画として決定しています。最初教育委員会が方針を出して、三石小学校と柱本小学校の再編を市の計画として決定しました。ですけど、最終決定というのは市議会での議決がいるんです。橋本市が計画を決定しても、最終的に決定するのは、市議会承認をえなければならないんです。市議会に条例改正というんですけど、柱本小学校と三石小学校を令和11年度に再編統合するという、そういう条例を提案するという意思確認ととらえていただけたらありがたいです。

2-2. 先ほどの方もおっしゃいましたようにその準備委員会で、いやもう統合はやめようとなったら進めるのはやめようというのは私も聞いたんですけど、それは確かなんですか。

(教育委員会)

この準備委員会は、子供たちのことを真ん中に置いて、2つの学校を再編して、子供たちの学習環境をより良くしようという会議なんですけど。そこでは建設的な意見をいただいて、どういった学校づくりをしていくのかを議論していきます。そこで再編をするしないというのを決定するのはなくて、その会議は三石小と柱本小が一緒になって、よりよい環境を進められていくのかを議論しますので、前向きな準備会議ということです。学校の先生だけでなく、保護者も地域の方も、学校を支えていた方も、いろいろご意見いただいて力を貸してもらいたいということでございます。

3-1. 今の話の中で子供たちにとって前向きにとか建設的にということはおっしゃいましたが、それはですね、統合するのが前提となつての前向きの意味ですか、それとも先ほどおっしゃったように、それでは統合するのは嫌だという意見が多くあれば、その統合はなくなるというふうに解釈してよろしいんでしょうか。建設的とか前向きとか、どこをもって進めていくのか。統合するのが建設的ということなんでしょうかね。ちょっと意味がわからなかったです。

(教育委員会)

あくまで再編を進めていく上での議論を一緒に入りたいと思っています。ありきという言葉は使いたくないんですけど、三石小学校と柱本小学校の再編を現実になら近づけていく、そういう会議を持ちたいと思っています。

3-2. 何度も言うようですが先ほどの方もおっしゃったように、準備委員会とかあるってということなんですけれどもね。それだったらもう初めから、統合がありきってということで進んでるってということで解釈してよろしいんでしょうか。

(教育委員会)

市としてはそれを目指しております。今、市として計画を定めましたので、本市としてはそれを目指して進めていくという形になります。

3-3. ということはもう撤回はありえないということですよ。

(教育委員会)

極端な話をします。準備委員会でとても話がまとまらないことが想定された場合は、市議会に上げる条例のタイミングはずれる可能性はないとは言えません。当然そうなりますと、学校再編の時期にとっても影響してきますので、やはりこの資料の中にも、2年前の入学を認めるという形で説明させてもらったんですけど、そういった中で、これから1年生に入ってくる子供たちにも影響がないようにしたいということで、市議会に上げる時期は目標値では持っています。ただ、とてもその準備委員会で話が前進めにくいということであれば、時期のことは変更がないとは言えません。

4-1. 学校の統合の話なんですけど去年、2回目も参加させていただいて、これはほぼ決定事項で動いて、こういう説明会があるということは、去年、今とわかるんですけど、私がちょっと気になるのはもちろん少子化によって、やむを得ない事態になってることは理解できます。去年と説明会と何が変わってるかって言ったら、具体的に送迎バスの案が出たり、それから、そのあとの学校をどうするかっていうようなことも、ちょっと書いてあります。私が気になるのは、やっぱり学校をどうするかっていう話なんです。ここ廃校になります。廃校になったら、基本的にここ施設を使ってスポーツしてる人、グラウンドを使ってスポーツしてる人、廃校になったらもうできません。信太小学校も最近キャンプ場が閉鎖されました。また廃校に戻りました。

このお話を見ると、資料20ページの柱本小学校の跡地活用には、ニーズの対応とか活用準備とか、それから16ページには安全対策・学校施設の整備と書いてありますけど、ここには具体的に何も案が示されてない。基本的に教育が少子化によって、この社会の流れとして統合す

ること自体は良いかもしれないけども。例えば、統合イコール跡地跡地をどうするかですよ。これセットやと思います。1年前ですかね、紀見ヶ丘で回覧版で防犯カメラに不審者が映ってましたと。それを警察に届けて、回覧版で警察の方から全員に回覧しましょうということがありました。今年、3日間か4日間で4件か5件の連続空き巣がありました。基本的に学校がなくなるということは、ゴースト化するんですよ町がね。だから教育のことももちろん大事ですけども、やっぱり基本的に小学校をどうやって活用するかってことは、抽象的な言葉だけで案が何も示されてない。こうしますよあしますよと防犯カメラつけますよというだけでは、ちょっとお粗末なお話かなと思います。

例えば桔梗が丘みたいに、大きなタウンがゴースト化してとんでもないことになってるとこもありますよね。例えば信太・嵯峨谷。あの辺は昔からの集落ですから、当然廃校になったりするのも早いし、今度はやっぱり住宅地の問題になってくるといえると思うんで、基本的に跡地問題は早急に案として、こうしますという話にさせていただかないと、住んでる人間にとったらやっぱり怖いですよ。例えば廃校の中で幾ら鍵をかけても、何が起るかわからない。例えばですけど私の住んでる隣が昔に空き家になりました。空き家になったときに、がさがさすることが1回あって覗きに行ったら、中学生か高校生が中でタバコ吸ってるんですよ。カップヌードルの食べ残しもあったりね。やっぱり怖いんですよ。小学校は何されるかわかんないし、どんなことがあるかわかんない。その辺はやっぱり市として、どうお考えなのかは早急に示していただきたいと思います。

(教育委員会)

跡地活用のところなんですけども、確かに今日の説明では具体的な構想案がありますという説明をさせてもらえる段階になってないんです。資料19ページには進め方だけを載せさせていただいています。まずは地域の皆さんと再編の具体的な協議を行っていく上で、おっしゃられましたように跡地活用の協議はセットでさせていただきたいと考えています。地域の皆さんのご意向というのがまずは第1になってくると思っておるんですけども、公共施設の活用とかについては内部でも協議は開始しています。今日は具体案をお示しできるような段階にはないんですけども、そういったところも内部でも協議を重ねながら、地域の皆さんのご意向を大事にしながら、跡地活用がどういった形が一番いいのかを出していきたいと考えています。

なお、再編が進んだとしても、この施設そのものは避難所に指定されています。また、社会体育施設として、いろんな練習とかされていたり、岡潔数学体験館もそのまま残ります。そういったことも踏まえ、行政だけで跡地を考えていくのではなく、準備委員会をはじめとした地域の皆さんと、跡地活用と一緒に協議させてもらえたらと考えています。

4-2. おっしゃることはわかりました。やっぱりほとんどが民間事業者に委託という形をとって、案をいっぱい出してもらって決めるという話に、信太小の場合はそんなふうになったとお聞きしてますけどね。果たしてそれが本当にうまくいくかどうかということは、やっぱりちゃんと議論していただきたいとは思っています。まだスポーツ施設も学校自体はやっぱり体育館もそうですけど、災害があったときに施設としては地域に残るわけですから。もうそれだけじゃなく具体的にちょっと示してください。これすごい大事なことです。

5. 教育委員会の方にお尋ねする話ではないと思うんですが、先ほどの方が私と同じような考え方をもちで、紀見ヶ丘・光陽台というニュータウンの小学校がなくなる。そうすると橋本市の入口ですよ。大阪にも通勤もしやすいようなところで、ニュータウンで小学校がなくなると。そうなってくると若い世代の入居が減る。高齢化もしてるし、若い人が入ってこなければ空き家が増えて荒れていくようなお話が先ほどもありましたけれども、今回の統廃合は、教育的観点からは必要なことだとは思いますが、橋本市としてですね、市の入口となるニュータウンで小学校がなくなりますって、一番北部で通勤にも便利で、価格も安い住宅地で、今後高齢者が抜けて、新しい人が入ってくる可能性がある場所と考えますけれども、そういうことは教育委員会の方なんで難しい質問だとは思いますが、そういう今後の橋本市の残り方っていうか、人口を集めていくという観点からはですね、その小学校は是非とも存続させていただきたいと私は考えるんですけども。そういう観点は市の方は考えておられないのでしょうか。

(教育委員会)

おっしゃられたことは去年の説明会でもたくさんいただきました。紀見北中学校区だけではなく、他のところでも学校がなくなったらもう若い子が入ってこなくなる。どんどん人口が減っていくというお話がありました。我々教育委員会では、まちづくりの観点と子供たちの学習環境を一緒にするというのは限界があって、私たちは子供たちの学習環境に焦点を絞って、そこを中心にして話していく形で来ています。この学校再編は人数が減ってから来年しようとか、そういう簡単にできるものではなくて、最低でもやっぱり3年を要してそれなりの準備が必要となってきます。今辛うじて10人以上のクラスを維持できてるんですけど、これが本当に少なくなってから動いたとしたら、そこから3年かかります。小規模を否定するわけじゃないんですけど、やはり資料にもあったように、いろんなお友達とお話をして、学びをしてという環境を将来的には6年間過ごして欲しいと、そういった形でお話を進めていきますので、できれば一緒に考えていただけたらありがたいです。

6-1. 私も説明会に何度も参加させていただいて、質問も何度もさせていただいています。それで最初に保護者が思うのは再編統合の賛成反対とか、そういうことはちょっと聞いてもらえる段階ではないのかなというのが、いろんな保護者の方からの意見を伺って感じるところです。何度説明会に参加しても、はっきりした反対意見もいただけてないかもしれないですけど、反対だろうなという感じの意見をいただいたとしてもそれが覆ることはきっとないってことですよね。学校再編については、それで理解してるんですけど。

あと6月の末にもまた保護者に向けての説明会が開かれます。スクールバスなどを子供たちがどういうふうに利用していくかについての説明会を保護者としていたいということで開催されます。保護者も再編することは飲み込んだ上で、それに参加しないといけないというのが大前提で、今日は知人の方から、代わりに質問をしてきて欲しいというのをいただいたんで、代わりに言わせていただきます。

支援学級に通っている保護者です。まず支援学級に通っている子供たちは、入学や支援学級に通い出す1年も前から、その子供たちの様子、発達検査、進学先を相談し、引き継ぎされ、今の環境を選んでいきます。支援学級は学校により、やり方が様々であることは、市の発達検査や相談でも聞かされています。そして合併先にはどのようなやり方であるか、どのように仲間に加わるか、いつどのように引き継ぎをされ、保護者が学校側と面談できるのはいつなのかを明確に知りたいです。そもそも保護者が面談できるなど、そのようなことは考えられていたのか教えて欲しいです。

(教育委員会)

大事なご意見ありがとうございます。この引き継ぎ、特に支援学級をご利用の子供の状況は事前にお話を伺って、学校の中でも引き継ぎを絶対にしないといけないことなんです。保護者として気になるところを、学校の先生同士はしてもらったとしても、保護者としても直接お話を聞いていただきたいということが絶対でてくると思います。そういった場合は機会を設けるべきと考えます。今、時期のことにつきましては確定していませんけれども、再編前に時間を取ってお子さんの様子をお聞かせいただければと考えています。

6-2. もう1つ、スクールバスについて同じ方からの質問です。支援が必要な子を持つ親として、バスに乗って行ってらっしゃいとは簡単なことではないです。慣れるまで理解するまで親が同乗して、1つ1つ説明するわけにもいきません。それができたとしても、周りの子からの見る目を子供に感じさせてしまう可能性があります。となれば、はなから自分たちで送るなど、諦めて自分たちで送迎せざるをえないのかなと思っていました。当たり前を当たり前に行えない子供たちには、スクールバスで通うという件について何か考えていただけているのかを知りたいです。

(教育委員会)

説明の中にも触れさせていただいてあるんですけども、資料15ページご覧ください。先ほど支援学級、特にご心配という保護者の声を聞かれてるということなんですけども、すべての子供たちの新しい学校になるということで期待することもあると思うんですけども、やっぱり不安なことも当然あると思います。そこは子供たち一人一人の状況によっても違うと思いますの

で、一人一人の不安なところをお聞きする。既に隅田中学校区でいうと、そういうアンケートを取り始めてるんですけども、再編の時期が近づいていくことによっても、さらに心の変化も出てくる部分もあると思います。まずはその入口としてはアンケートというところから考えているんですけども、子供たちの、保護者のご心配なところも吸い上げていって、その後の対応はそれぞれの子供に応じた対応が出てくると思います。状況も見ながらしっかりと対応していきたいと考えています。それは新しい学校そのもののことであったりですか、支援のことであつたりですかいろんな面がそれぞれの子供たちによって出てくると思いますので、そこはしっかりと丁寧に対応していきたいと思います。

7-1. 前回、保護者説明会のときにスクールバスでの乗降などは見守りなどについて保護者や地域の方の協力を得たいですと聞いています。また、こないだ初めて聞いたことなんですけど、スクールバスの降車するところが林間田園都市までと聞いています。そして林間田園都市から三石小学校までは徒歩でいくとも聞いています。そのことについての心配点が先ほどの方からもう一度あります。スクールバスが駅までの場合、降りた時点から個人のペースで学校に向かいます。その時に大人が集団で連れていくのか、その場合、別に支援があり、加配の先生などはつけていただけるのか、そういうところも心配があるので、教えて欲しいです。

(教育委員会)

一番学校の最寄りの乗降場所がどこになるかっていうことについては、前回の説明会で、現在のところ、林間田園都市駅のロータリーを考えているということで、これについては学校前よりも安全なんじゃないかということでお示しさせていただきました。実際、徒歩で450mぐらいの距離を歩いていただくということで、現場も知らない方も多いと思いますんで、実際どんな形になるのかも含めて、次の説明会等でお話させていただけたらと思っています。あわせて、学校前についてもどうなのかというところは、前回の説明会も受けて、検討をさらに進めているところです。実際に、もし林間バスのロータリーで乗り降りしたあと歩いていくにあたって、どんな見守り等があるのかということだと思えるんですけども。実際、三石小学校で通学をボランティアで見守りしている地元の方であつたり、先生であつたり、その他どういった方々がいらっしゃるのを一定把握はしてるんですけども、より具体的な話については、今後していくということで、お示しできる場所はないんですけども、子供たちの安心安全であつたり、やはりちょっと一定の特性がある子供たちの見守りについては、今後学校も含めて検討していかなければいけない内容と思っているところです。

7-2. ありがとうございます。柱本小学校に通う子供たちは、紀見ヶ丘の住民の方もそうですし、光陽台の住民の方、それ以外の地域の方々がいつも見守ってくださって安全を守っていただいています。しっかりと保護者だけでなく、地域の住民やその周りに関わる人たちすべての人たちが納得のいくようにしていただけたらと思います。

8-1. 来年1年生になるので三石小学校か柱本小学校か選べるってところで、どちらに行くか悩んでいます。お兄ちゃんがいるので、一緒に通いたい本人の意向もあって、柱本小学校にしようかなと少し思っているんですけども、柱本小学校を選んだとき、三石小学校に行く子の方が多いのかなと私は思ってるんです。もし柱本小学校を選んだ子が、極端な話に2、3人とかだったとしても、入学まで知らせてもらえないのか、一旦、何か事前に柱本小学校に行く1年生に3人しかいないけど、本当に柱本小学校でいいんですかみたいな感じで、事前に教えていただけるのか、教えていただけたらなあと思っています。

(教育委員会)

先ほど申し上げましたように、今は市の計画策定と最終決定の間にあるんですけど、この最終決定として議会の議決をいただけたら、個人情報に触れない形である程度様子をお伝えするなど相談に乗れると考えています。

8-2. もう1点、これもちょっと難しいのかなと思ったんですけど、まだ決定じゃないからだと思うんですけど、来年1年生で三石小学校を選んだ場合、バスの送迎もなく、親が送迎

すると伺ってるんですけれども、たくさんの家庭が三石小学校を選んだ場合、結構車の送迎もたくさんの方が送迎するとなると、学校が混雑して危険かなとも思うんです。そういった場合もやっぱり統合が決定するまでバスの送迎はちょっと難しいということですかね。

(教育委員会)

バスの運行開始については、この再編の年度からということでご理解をいただきたいと思います。

9. 今のバスの件なんですけども、学校直づけよりも林間駅前のほうが、かえって安全だみたいな発言があったと思う。これはどういう理由によるものでしょうか。

(教育委員会)

現在、三石小学校については8時25分に予鈴があるんですけれども、7時50分ぐらいから8時10分ぐらいについては、学校前を通行する通勤の車が約10分間に40台ぐらい走るような状況になってます。さらに、お隣の三石こども園であったり、学校の方の一部送迎の車とかで、大変混み合う状況があって、時間帯によっては片側通行みたいになってしまうような状況もあります。そんな中に、新たにバスを乗り込んでいくことになると、子供たちの安全面からいうと、避けたほうがいい状況になっています。一定距離はあるんですけれども、防犯上問題がないというところであったり、あと歩行者専用の道路がありまして、そこを歩いて林間田園都市のロータリーの方から三石小学校に歩いていただく方がより安全じゃないかというところで考えています。

10. より安全であるその理由背景は理解できましたが、先ほどおっしゃったいろんな障害、交通事情、その辺を克服して学校に直接乗り入れた方が、保護者の方が安心だということであれば、ぜひそちらを強力に推進していただいて、統合は本当は嫌なんだけど、でもそうしてくれるんだったらなんていえるぐらいの手段を用意していただきたいです。それと、乗るところも4ヶ所程度を決めようかというようなこともありましたけども、なるべくドアツードアになるような感じにしていいただいて、それだったら三石から通学するよりも安心だねというようなことにしていいただきたいなという意見です。

11-1. バスのお話で細部のお話が續いてるんですけど、基本的にスクールバスは学校の中まで来てスクールバスですよね。それをわざわざ駅のロータリーで降ろして歩いていただくのは、なんかちょっとおかしいかなと思うんです。例えば、児童さんたちが帰るときはどうなるんですか。またロータリーまで歩いて行ってスクールバスに乗って帰ってくるんですか。

(教育委員会)

学年によって下校時間が違いますので複数便になって、最初は低学年の子供たち用という形になりますが、おっしゃられたようにロータリーのところから紀見ヶ丘と光陽台それぞれの方面に出発するようなことになることを考えています。

11-2. 先ほどお話もあったみたいに、やっぱり1つは児童さんにあまり負担がかからない。親御さんにも負担がかからない。ましてや弱者にはちゃんとケアをしていただきたい。やっぱり弱者の方はそういう意味ではかなり負担が増えると思うんですよ。基本的にそのロータリーでおろすのはどうかなあと。小学校の中のバスが乗り入れる場所を確保することだってできるわけじゃないですか。駐車場をどうにかするとか、中まで乗り入れて児童さんを下ろしたらあまり問題はないのかなと。通勤帯で車が多いのもわかりますけど、バスに乗って校舎の中まで乗り入れたらあまり問題はないのかなという気はします。それよりも児童さんが小学校から駅の方まで歩いて行くこと自体は、統合に向けてバスも作るのに、なんで手間なことをするのかっていう。停める元を変えたほうが手取り早いかなと。この辺は知恵を持って対応していただきたい。スクールバスは普通学校の中まで来るんですよ。

(教育委員会)

先ほどロータリーの話は保護者との説明会をしまして、そこでもご説明をさせていただいたんですけども、同じようなご意見もいただいています。そんなところで、保護者とも改めて、スクールバスを中心とした意見交換の場を持たせていただいているようになっていきますので、

その中でも保護者のご意見も聞きながら、最終的なところを判断していかなあかんと考えています。

12-1. 最終決定というのはいつごろとお考えでしょうか。

(教育委員会)

本年度内に決定をしたいと考えています。

12-2. 今年度ということは来年の3月までと考えてよろしいんですね。

(教育委員会)

そうなります。

13. 前回説明会は仕事で参加できてないんですけども、結局もう統廃合を今から住民として反対ですと言っても、もう無駄な段階にきてるんか、いやいや住民の方々がそんなに反対があるのであれば、もうちょっと延ばしますとか検討しますという可能性があるんかどうかお聞きしたいです。

(教育委員会)

可能性があるかどうかというところに関しては、ないとは言えないっていうところが正直なところなんです。私たちとしても、決して強引に進めようっていう気持ちは持ってないんです。けれども目標値は持っています。先ほどこちょっとお話も出てきましたけども、2年前から学校選択できる制度があるので、逆算するとやはり時期というのも持ちたい。まして柱本小学校のお友達は、ほとんどの子供たちが三石こども園と三石保育園の卒園児の方が多いんです。5歳児までの繋がり結構できて、そういった中で一旦柱本入ってから再編しようという考え方もあったら、もう今のうちに行こうという選択肢を1年生を迎える保護者の方にも、子供と一緒に考える時間が必要だと思います。そういった形で強引に進める気はないんですけど、やはり子供たちのことを考えると、目標を持って皆さんと一緒にこの話を進めていきたいと考えています。

14-1. 去年の説明会のときに出席させていただいて、前の方が言ってらっしゃったことを意見として言わせていただきました。ほぼ同じことなんですけれども、それに対して持ち帰って検討とか、またお願いしますということだったんですけれども、一切それに対して、何も動きとかも見えなかったと思ってます。今日はもう決定として諦めた気持ちで参加させていただいたんですけれども、まだ決定ではないということです。けれども、去年の説明会からの動きを見ていて、何も変わることはないんだろうと思ってます。あのときにの意見で反映されたのは、今日の説明会の場所です。紀見北地区公民館で夜間に行われて、出にくい時間帯にわざわざしたんじゃないかという意見があって、それは反映されたのかとは思いますが、他のことは一切、何の動きも見えなかったと思ってます。教育委員会と市とは別問題だということも理解はできてるんですけれども、ここの場所、すごく新しい人にとって住みやすく行きやすい場所だと思うんです。光陽台も統廃合を考える前に、市政として考えていただきたかったというのが正直なところなんですけれども、もっとここに地域の住民の方の、協力も必要だったと思うんですけれども、若い人には住みやすいところだと思うんです。年取ってくると坂道なので、大変なんですけれども、若い人を呼び込むにはすごくいい場所だと思うんです。ただ、それは持って帰ってちょっと市政とも相談してお願いしますねと言ったんですけれども、何かそれはありましたでしょうか。

(教育委員会)

これから言うのはこの地域に限定したことでないのご容赦いただきたいと思います。市全体での取組にはなるんですけども、やはり全国的に人口が減少していつている状況もあって、何とか橋本市に住んでおられる方は住み続けていただけるように、また新たな若い世代、ファミリー層の方には橋本市に移り住んで欲しいというようなことで、それぞれの地域に特化した話ではないんですけども、市の一番の重点的なプロジェクトということで取り組んでいます。そんな中で、まずは子供を産んでもらえるような、出生数を何とか増やしていけるような形にいろんな子育て支援をやっていこうということ。それから、ファミリー層の方に入って来てい

ただけるように、子育ての支援ですとか、新婚世帯が入って来ていただけるような支援。それから働く場所のお話もある中で、企業誘致にも取り組んでいまして、かなりの会社が操業されているんですけども、やっぱり働き場所の確保。そういったところで子供たちをできるだけ多く産んでいただけたらありがたいというところ。それからファミリー層に転入してもらえたらというところ。あとはどうしても子供たちっていうのは、大学とか就職を機に一旦橋本市から出られるっていうところもあるんですけども、先ほどの働く場所の確保とかでも、いわゆる転出していくのを何とか少しでも抑えたいっていうようなことで市全体としてはいろいろ取り組んでいるところです。

冒頭の説明でもありましたように、ファミリー層のところについては転入いただける方もいるというところはあるんですけども、それよりもさらに出生数の方が少ないということで、子供たちが少なくなっていく、減っていくところはなかなか食い止めることができていないというところ。これは市全体でのお話になりますので、言われてる紀見ヶ丘、光陽台に特化したお話ではないので、ここについては直接的なお答えになってないと思うんですけども、市全体としては本当に様々なこと、情報発信もそうですけども、何とか一定の成果は見られているけれども、人口減少の大きな波にはなかなか逆らえていない状況です。

そんな中で、両校が一緒になって子供たちの規模も確保しながら、子供たちの学習環境、新しい教育にもいろいろ取り組んでいける環境、そんなところを子供たちのことを第1に考えた中で、この再編統合の計画を作ったというところ。この地域に特化したことのお答えにはなっていないんですけども、市全体としての考えとしてはそういった取組をしておるといふようになります。

14-2. この地域に特化したこととして去年の説明会で言わせていただいたんですけども、柱本小学校を廃校にする計画を立てる前に、若い世代を呼び込める絶好の場所であるので、その計画を立ててください、そういう計画を立ててほしかったと。せめて、少し伸ばせないんでしょうかということで意見を言わしていただいたんですけども、延ばすことはなくて、そういう呼び込めるというか、ここに特化した形になるんですけども、この地域にもっと呼び込めるというか、柱本は橋本の中でファミリー層を呼び込める好立地な場所だと思うんですよね。それを小学校をなくしてしまって、来ようかなと思ってたけれども、もうこちらに引っ越すのはやっぱりやめるわとかいうそういうことも聞いたりもします。だから、やっぱり学校がないっていうことはファミリー層を呼び込めないということだっていうことを考えて欲しかったなって、こちらに特化した形で言わしていただいたんですけども、動きはなかったという失望感です。

15-1. 柱本小学校校区の準備委員会ですけれども、20人ぐらいの委員はもうすでにメンバーは決まっているんでしょうか。または選考するとしたら、どういう基準でされるんでしょうか。（教育委員会）

人数的なところは、先ほどご説明申し上げました20人前後と考えているんですけども、メンバーはまだ決まっています。保護者の皆さん、それから地域の皆さん、また教育関係団体の皆さんということでのいろんな視点から御発言いただけるように、そういった方々のメンバーを考えています。どうやって選出していくかについては、例えば保護者でしたらPTAの方にご相談したり、地域の方につきましても、例えば区長に、こういった形で選んでいくのかをご相談させてもらいながら、選ばせてもらえたらなと考えています。

15-2. 委員が決まってから、準備委員会っていうのができて、その中でいろいろ討論されると思うんですけども、今回の説明会を見てると、保護者の意見とか色んな意見があまり反映されないで進むような不安を持ったんです。いろんな意見の方がいらっしゃると思うんですけども、それをうまく取り入れられるような工夫はされるのかなという不安がちょっとあるんですけども、どうでしょうか。ある程度、決まった感じの意見の方たちで集まるんじゃないかなっていう不安があるんですけども。

（教育委員会）

例えば保護者や地域の方からどのような方を選ばれるのかというところは、地域の代表の方ですとか、保護者の代表の方にご相談させていただきながら、いろんなご意見を出していただけるということで選んでいただけたと考えています。人選についてはご相談もさせてもらいながら決めていきたいなと思います。

15-3. 出てきた内容については、結果が出てから皆さんに発表になるのでしょうか。途中経過や内容を私たちが知るといことはできるのでしょうか。

(教育委員会)

準備委員会は2段階といいますか、先ほどありましたように再編を進めることについての確認という段階と、資料22ページにあるように準備を進めていく段階として、スクールバスのほか様々なことについて協議いただく段階があるんですけども、そんなところにつきましては、メンバーの方以外へも、こんな議論がされている情報を発信していきたいと考えています。

15-4. どういう方法でされるんですか。私たちはどういうところで見ればわかりますか。

(教育委員会)

公表方法については、別の中学校区で準備委員会がすでに開催されているんですけども、校区内のすべての住民の方に周知する必要があると考えていますので、例えば公民館報に一緒に配布させていただくことですべてのご家庭に配布するであったり、あとはホームページ等で情報周知については実施したいと考えています。また準備委員会の開催日についても公表し、一般の方は傍聴という形にはなるんですけども、聞いていただけるような場にしたいと考えています。

16. スクールバスなんですけどもこれから検討される話ですが、三石小学校の朝の送迎の混雑についても十分理解してるところなんですけども。林間の駅前のロータリーから例えばフォレストの階段上るにしても、フォレストの階段も改修してくれないし、雨の日はよく滑るし、こんだけ子供さんがやっぱり統合するだけで負担がかかっているんで、階段上っていくよりはできたら、やっぱり学校内に入るようにしてあげて欲しいなと思います。何とか施設改修だったり、交通誘導員を配置するとかで直接乗り入れできるような方向を前向きに考えてもらえたらと思います。

17. 大体の決定が3月と言ってたんですけど、3月に決めてからの通知やったら、1・2年で入学する子がどっちか選ぶのもぎりぎりやし。例えば1人2人が柱本に残っちゃったらどうするかとかも決められてないから、何か中途半端と思って。あとバスなんですけど、三石こども園の裏が公園やから、やっぱ低学年の子の寄り道も多いやろうし、時間を決めるんやったらその時間までに行かれへんかったらどうするかとか、子どものペースに合わせてくれるのかとか、付き添いの先生がついてますとか、具体的にまとめてから紙に書いてくれないと、不安の声の方が多いんじゃないかなと思います。あとクラス分け、多分2クラス以上になると思うんですけど、うちは6年と4年のときに一緒にいるから、やっぱいろいろある年頃やと思うし、柱本だった子が1人だけ違うクラスとか、そうなったら不安やと思うんで、まだそういう段階ではないと思うんですけど、例えば柱本の子は一緒にしますとか、そういうのも決めてから言ってくれないとちょっと不安かなと思います。

(教育委員会)

3点ご質問いただいたと思います。決定時期のところは先ほど今年度と言わせていただいたんですけども、再編2年前からの学校選択を、保護者にご意向どうですかというのを聞かせていただくタイミングがありますので、そこで言いますと、この決定はもう少し早い段階でさせていただかないと、意向確認のスケジュール的に難しいところがあります。今年度とは申し上げましたが、保護者の確認いただく時間も含めて決定していきたいと考えています。それからスクールバスの乗降までのところの不安の声のところなんですけども、そこにつきましても、保護者の説明会に1回目でも同じようなご意見もいただいています。本日もいただいている中で、また保護者との意見交換もさせていただく中で、具体的なところについても改めて意見交換させてもらいながら、より具体性のあるものにしていきたいと考えています。

(教育長)

クラス分けについてお話させていただきます。まず進めていくことが決まりましたら、実際に一緒になるまでの間、学校と学校が交流する時間も、授業で交流する行事で交流するなど、いろいろあると思うんですけども、子供間で関係づくりをしていきます。その中で子供たちの様子を見た上で、どんなふうにしていくのがいいのかは、各学校の先生方ともしっかり話をしながら決めていく必要があります。教育委員会としてこうしますとお話しするのは、それはしにくいことだということで理解していただきたいと思います。大切なことは、子供たちの中で一緒になって楽しんで、楽しみを持って学校行けるような形を作ってあげることが大事だと思いますので、そうなるように学校間での話し合いをしていきたいと思っています。

特に人数が少なくて向こうへ行くときには、かなり配慮していく必要があります。クラス分けするときには、担当がそのあたりのことも配慮した上で決めていきますので、最終決定は学校がしていきますが、教育委員会もそのことについてはしっかり関わっていききたいと思います。大事なのは子供たちが楽しい部分を持ちながら学校行けるような、そんな環境をまず作って、それを前提にした上でのクラス分けに取り組んでいきたいと思っています。

心配なことがもしあるようであれば、その時に学校を通じて話してもらおうということをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

17. もう再編統合は決まったことと思って、今日ここにあります。資産価値が下がるとか、不安であるとかいろんな僕らの住民の心配は子供らには何の関係も義務も無いことなんで、今日は教育委員会の方が主催なんで、あくまでも子供が安全にこれからもできるようにということだけを前提で、考えていただくということで前回もスクールバスとかいろんなことについては細かいことか調べていただいて、すごく細かい資料が出てきていると思います。

できたらもう今言っている紀見ヶ丘の子が困らないようにということだけを、前提に話を進めていただいたらいいのではないかと思います。

市長さんは将来ここが防災拠点になるとか、もうあくまでも柱本小学校がなくなる前提でいろんなことを仰ってましたから、そうなるんだろうと思って、それは行政の方の仕事で、前にいる教育委員会の人の範疇ではありませんので。ただちょっと気になるのはスクールバスの導入なんかについては一応ここにQRコードのこと出てますけども、路線バスの利用とか路線の電車の利用があるってことは、QRコードのいろんなシステムから外れることと、完全に全員がスクールバスで行けるみたいなことではおそろくないんだろうなと予想しています。それからあとは送り出しとか、それから送り迎えとか、実際の現場の教員にかかってくることも大変多いです。一昨年、私はそういう学校で働いていましたので、その時に例えばさっきあった発達障害支援学級の子供のこととかいろんなことを、行政の方は住民のサービスの一環として受けるんですけども、現実の雑務は全部現場の教員に丸投げというのを今まで何遍も見てきました。できたら、生徒の下校時間とか、教育課程とかいろんなことも見直していただいて、橋本独自で見直しいただいて、子供たちにも先生方にも、住民の負担のないようなそういうものを目指していただきたい。

それから、住民の方にもここまではやって欲しいんだという形で住民がどこまで協力して欲しいのか、先生の仕事はどうなのか。実際始まった後でも、いろんな子供のことを考えて柔軟に対応できるような形であれば、僕らの方も住民の方も協力できると思うので、そういう道も残した上で再編の方をうまく子供を中心に進めていただけたら結構かと思います。応援しますので、頑張ってください。

(教育長)

橋本市の取組の特徴的なところでいうと、開会のときの挨拶にも少し触れたんですけども、学校は学校でというのではなく、地域の方々と協力しながら、子供たちの教育に参画してもらおう。そして、そういったことがうまく大人と子供の関係を循環させるようなことによって、地域を育んでいきたいという話をさせてもらいました。そこでも効果が出てきているというお話しもさせてもらったんですけども、まさに子供たちの中には、地域の方々にお世話になって私たちは大きくなってきたんだというようなことを、本当にいろんな場で言ってくれる子が増えてきているのを肌で感じているところです。それは中学校区ごとで、いろんな方々が集まって話し合いする場を持っています。ここだったら紀見北中学校区の共育コミュニティという

形、または、それぞれの学校に設置されてある学校運営協議会で話し合いをされて、子供にどう関わっていくことができるか、それぞれの立場で何ができるかを話した上で、それを子供たちの勉強の中に組み込んでいるのが特色なんです。

そういったことをすることによって子供たちの地域愛が育ってきてるかなと思います。紀見北中学校区は紀見北中学校区の特徴があります。他の4中学校区もそれぞれの特徴を出した取組をしていただいています。その中では言っていたように、学校は学校としてすべきことがあります。保護者にも協力いただかないといけないこともあります。地域の方々には、子供たちの教育のためにこういう関わりしてくれませんかということでお願いすることもあります。そんなのを話し合いする場をこれからも持ちながら進めていきたいと思いますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。貴重なご意見ありがとうございます。

18. 今までのお話なんですけどね、バスって実際に歩かれましたか。雨の日とか子供の目線になって。いろんな不安、特に小学校に通わせる親御さんから見ると、やっぱり見えてないところがいっぱいあるから質問がいっぱい出てくるのかなって。現実問題、雨の中、お子さんの視点に立って、職員の方が歩いて、さっきおっしゃられたように、そのフォレストの階段を滑ると。雨の日は例えばね。でもそれってやっぱり机上の空論みたいになってしまっただけで企画書になってんのかなって。だからやっぱり具体的に現場をちゃんと見て歩いていただいて、もうちょっと細部を丁寧に何か考えていただきたいというのを思っています。このままではまだいっぱいいろんなお話出てくると思います。建設的な意見が出て、前向きに良い方に向かえば良いと思います。それはお子さんにとっても少数で勉強するよりは、多数で勉強した方が人間関係が作りやすいのはもう重々理解できますので、その上に立って細かいところ。ちゃんと現場を見て対応していただきたいと思います。

(教育委員会)

我々もいろいろ現場を確認したりというところもあるんですけども、やっぱりお話しいただいたより丁寧に細部まで確認しながら、保護者とも、特にスクールバスのことについては、保護者とも意見交換をしていきたいと思います。

19. 子供が療育の園に通ってます。柱本小学校があるとなれば、柱本小学校か、きのかわ支援学校の選択でしかなかったんで、柱本に入れば親が送迎も歩いてきたりとか、気軽に車でも来れるような場所なんですけど、三石になるとなればバスになる。その場合、バスはもう完全に無理という選択になるんです。絶対に目が離せない、手を離せない子なので。できたらロータリーから歩かせる話がなくなれば、選択肢に三石も入れられるかなという選択肢が増えるんです。今の段階でバスは、南海りんかんバスでおっきいバスの選択肢しかない感じですか。人件費とかもかかって難しいと思うんですけど、ハイエースみたいな小さいバスで学校まで入っていける。紀見ヶ丘だったり光陽台の家の近くまで送っていただけたらとなれば、三石小学校に行かせるといって選択肢が増えるんです。

今の段階ではもう無理なので、きのかわ支援学校しか選択肢がないんです。できたら三石小学校に行かしてあげたい。今の園の子たちだったりとか近所の友達と、一緒に学校に行かしてあげたい気持ちがあるので、学校まで入っていけるバスの選択肢が、大きいバスなのかハイエースとかの数名のバスになるのかというのも選択肢にあるのかをちょっと聞きたいです。

(教育委員会)

現時点で考えていますのは先ほどありましたように紀見ヶ丘ルートと光陽台ルートの2ルートを考えています。それぞれにそれなりの人数の子供たちがいらっしゃいますので、今は中型バスや、大型バスでの運行を考えています。ただ、そこのところ以外のところで、いろんなご不安があるというところを聞かしていただいたので、どこまで答えられるか、どこまでできるのかっていうところあるんですけども、また保護者の意見交換の場もございますので、ぜひ出席もしていただきまして、いろんなご意見ちょうだいできたらと思います。

20-1. 16ページの学校施設の整備のところの質問いたします。三石小学校では再編統合に合わせ、施設整備を予定していますとあります。これは具体的にどういうことを示してるのか。学童について質問が全然出てこないんですけども、現在の柱本小学校には1ヶ所、三石小学

校には3ヶ所の学童保育所があります。施設については、今までの例で言ったら、橋本市が整備をしてきているので、この中の施設整備の中には学童も含まれているのかどうかということもお尋ねします。子供さんが減っても、学童を必要とする子供さんは増えているのが現状だから、統合のときに子供さんの数が減っても学童が必要な数はそんなに減ることはないと思うのでお尋ねします。

（教育委員会）

再編統合時の三石小学校の施設整備について考えていますのは、体育館は40年をめぐり長寿命化をしているというところで、通常の順番でいくともう少し先だったものを、今回再編統合にあたって前倒しをしまして改修等を考えているところです。また、校舎部分につきましても、外壁、屋上等の防水対策であったり、一部床についても改修等を考えているところです。あとは、学童施設についてはどうするかというところがあるんですけども、現在共働きが増えています。学童施設についての重要性は認識していますので、再編等があっても十分な学童施設を確保していきたいと考えているところです。

20-2. 学童については、現在三石小学校の教室2つを使っているのと、外に1ヶ所ついていることになっています。さっきも言いましたように、柱本でも1ヶ所あると。必要な数が増えた場合に、教室数だけでなく敷地内にまた別にふやす。その人数とかにもよりますでしょうけれども、また新しく建てるということも、考えていることに含まれているということでしょうか。

（教育委員会）

具体的な内容については決定したものっていうのはまだないんですけども、運営いただいている学童事業者であったり、学校との協議を今後さらに進めていくようなところで考えています。場所についてはどこにするかということも含めて学童等と協議を行っていく予定です。